

同志社法学

総目次

第四二卷

自第二一三
至第二一八号

論 說

	卷	号	頁	頁
二〇世紀初頭（明治後期）の日本の法哲学……………	八木鉄男……………	一（二一三）	一（	一）
国際私法における法定債権……………	岡本善八……………	一（二一三）	三七（	三七）
憲法制定権力論……………	山本浩三……………	一（二一三）	六九（	六九）
一五四六年の封讓渡証文……………	井ヶ田良治……………	一（二一三）	八九（	八九）
——中世土地売券の日英比較のために——				
不当労働行為救済申立の却下事由……………	安枝英紳……………	一（二一三）	一三一（	一三一）
人権概念の生成・発展についての覚え書……………	深田三徳……………	一（二一三）	一五九（	一五九）
——「讓渡可能な権利」から「不可讓の権利」へ——				
脳死と臓器移植をめぐる わが国の論議の仕方について(一)……………	清水征樹……………	一（二一三）	一九七（	一九七）
ハンス・ケオルク・ガダマーの 「哲学的解釈学」について……………	岩野英夫……………	一（二一三）	二一九（	二一九）
——K・クレッシェルの「法制史」観の理解のために——				
〈古代人—近代人論争〉への一視点……………	富沢 克……………	一（二一三）	二五七（	二五七）
——リニウツク・フェリ『政治哲学』第一巻を読む——				
韓国家族法の改正とその問題点(一)……………	西尾昭……………	二（二一四）	一（	二九一）
	金容旭……………			

G・B・シヨウの世界……………	名古忠行…四二	二(二二四)	二九(三一九)
——平等社会の思想——			

韓国家族法の改正とその問題点(二)……………	西尾 昭…四二	三(二二五)	一(四四一)
	金 容 旭…四二		

ドイツにおける法人処罰……………	松原久利…四三	三(二二五)	四七(四八七)
------------------	---------	--------	---------

法の「いのち」について……………	井上 茂…四二	四(二二六)	一(五六七)
——法の研究に入る人びとへ——			

約款による契約の解釈……………	上田誠一郎…四二	四(二二六)	四九(六一五)
——いわゆる約款の客観的解釈を中心に——			

現行の法人処罰の在り方とその理論上の問題……………	松原久利…四二	四(二二六)	一〇〇(六六六)
---------------------------	---------	--------	----------

ECにおける職員の地位……………	高橋 悠…四二	五(二二七)	一(六九五)
——EC裁判所による職員事件の処理を中心として——			

アメリカにおける税務情報の秘密保護と情報公開(一)……………	佐伯彰洋…四二	五(二二七)	二八(七二二)
--------------------------------	---------	--------	---------

特殊動産の即時取得……………	吉田眞澄…四二	六(二二八)	一(八二三)
----------------	---------	--------	--------

アメリカにおける税務情報の秘密保護と情報公開(二)……………	佐伯彰洋…四二	六(二二八)	四六(八六八)
--------------------------------	---------	--------	---------

研究ノート

フランス議会の復権に関する一考察(二)・完……………	勝山教子…四二	二(二二四)	六一(三五二)
----------------------------	---------	--------	---------

——議会改革の動向と背景を中心として——

執行による「満足」と債権の消滅(二)・完	梶山玉香	四二	二(二一四)	九九(三八九)
——「実体的正当性」基準の再検討——				
中井正一における「抵抗」の問題	長妻三佐雄	四二	三(二一五)	六六(五〇六)
——滝川事件から『土曜日』まで——				
契約解釈と行為基礎論(一)	岡林伸幸	四二	五(二一七)	五四(七四八)
——法律行為と私的自治序説(1)——				
契約解釈と行為基礎論(二)・完	岡林伸幸	四二	六(二一八)	九七(九一九)
——法律行為と私的自治序説(1)——				

判例研究

被害者側の落度が介在した場合の過失犯の因果関係	奥村正雄	四二	五(二一七)	一〇四(七九八)
-------------------------	------	----	--------	----------

資料

ヘルマン・ヘラー	山崎充彦(訳)	四二	三(二一五)	一一五(五五五)
「ドイツ憲法改革の目標と限界」				
「国民的社会主义」				

書評

本山幸彦編『京都市会と教育政策』	伊藤彌彦	四二	四(二一六)	一二三(六八八)
------------------	------	----	--------	----------